

県遺族通信

発行：一般財団法人
岡山県遺族連盟
(086)271-7175
令和8年9月20日
No. 11

・旧岡山陸軍墓地彼岸祭
九月と三月に
催行され、理事
長が参列した。
・全国戦没者追
悼式
本県遺族代表
58名が参列。

理事会・評議員会開催

〓七年度事業報告・決算承認〓
去る6月10日理事会、6月26日評議員会を開催し、令和7年度事業報告及び決算報告について、いずれも原案どおり承認されました。

【事業報告の概要】

1 英霊顕彰運動の推進

・岡山県遺族代表者大会
令和7年11月24日、岡山芸術創造劇場ハレノワで、六百人が参加して実施。
・全国戦没者遺族代表者会議及び全国戦没者遺族大会
それぞれ6月30日と12月5日に東京・自由民主会館で開催され、県連盟から役員を派遣し、大会終了後国会陳情及び大臣陳情を行った。

・春秋の岡山県戦没者慰霊祭
春秋の慰霊行事に奉仕者を派遣。また、参列者に記念品(吉備団子)を贈った。

*春1、800箱
*秋1、400箱

・戦没者遺族慰霊研修事業
1泊2日の日程で44名参加
「岡山の塔」戦没者追悼式／
沖縄戦跡慰霊巡拝事業
2泊3日の日程で54名参加
・沖縄平和祈願慰霊大行進への参加者派遣 4名派遣
・慰霊友好親善事業
洋上慰霊及び2地域9名派遣
・政府主催慰霊巡拝事業
2地域3名派遣
・遺骨帰還事業
インドネシア及び硫黄島に3名派遣

2 処遇改善運動の推進

・岡山県遺族代表者大会や全国遺族代表者会議、全国遺族大会を通じて、遺族処遇改善事項の完全実現等に向けて、国や県に要望活動を行った。

3 組織の充実強化

・女性部・青年部研修会
「平和の語り部大会」と兼ねて実施した。参加者90名
・合同研修会
京都方面で1泊2日の日程で

実施 参加者33名
・中国・四国ブロック会議
島根県で開催された同会議に三宅理事長ら4名参加。平和の語り部事業や遺族会を取り巻く諸問題について意見交換を行った。

・終戦80周年記念・平和の語り部事業への取組
活動の周知と講話者育成を目的に、7月29日に教育関係者、報道関係者を含めて90名で、「平和の語り部大会」を開催。また、平和祈念館を活用して語り部講話を3回(小学校、中学校等)実施。各遺族会では学校等21回、忠魂碑で5回実施。

・県遺族通信を年2回発行
・高齢者の福祉充実に関する事業
*百歳長寿の祝い 6名
*一人暮らし妻慰問 3名

4 各種会議

・常任理事会 3回
・理事会 4回
・評議員会 2回
・監査会 1回
・女性部会議 1回
・女性部幹事会 2回

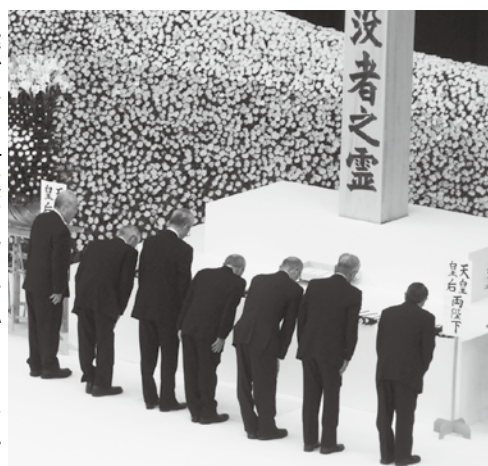
全国戦没者追悼式

〓県内遺族五十八名参列〓

終戦から81年目を迎えた八月十五日、日本武道館で政府主催の全国戦没者追悼式が挙行され、岡山県からは県連盟の三宅禎浩

理事長をはじめ、遺族代表58名が参列しました。

献花は、岡山県参列者で最高齢の伊藤長生(89歳・笠岡市神島)さんが代表して行いました。また、献花する人に花を渡す役目を玉島北中1年妹尾真太郎さんが担いました。



(献花する伊藤さん…右から二人目)



(献花補助者を務める妹尾さん…後列右から二人目)

全国戦没者遺族代表者会議 「要望事項実現を目指して」

日本遺族会は、6月30日に自由民主党会館で、来年度予算の概算要求に向け、平和の語り部の拡充強化等の要望事項の完全実現を目指して、関係省庁や自由民主党国会議員を来賓に招いて全国戦没者遺族代表者会議を開催しました。

本県から三宅理事長ら4名が参加し、会議終了後、小野田紀美大臣や地元選出の自民党衆参国會議員に平和の語り部事業の拡充強化をはじめとする遺族会の要望事項の実現を要請しました。

また、前日の29日には、昭和百年記念「平和の語り部大会」が、同じく自由民主党会館で「記憶継承」をテーマに、盛大に開催されました。日本遺族会より開催意図や全国の事例が紹介され、



その後、体験者、次世代の方から講話が披露されました。
(写真は大臣室での陳情の様子)

昭和百年記念「平和の語り部第一回定期講話会」

県連盟では、本年、昭和百年の節目を迎えることから、昭和百年記念と銘打ち、戦争体験者の記憶の次世代への継承に向けて、語り部の発掘・育成に繋げるとともに、広く語り部を周知する場として定期講話会を開催することとしました。

5月5日の県護国神社での第1回講話会では、倉敷市遺族連合会の諏訪妙子女性部長が「従軍看護婦として召集された母」、小田郡遺族連合会の竹内正弘会長が「戦艦大和で戦死した叔父」と題して、それぞれ語り部講話をしていただきました。

当日は、春の岡山県戦没者慰霊祭の祭典終了後ということもあって、百人を超える大盛況となりました。



定期講話会は、今年度4回実施予定です。
(写真は講話中の諏訪女性部長)

県連盟平和の語り部大会 「第2回定期講話会」

県連盟では、終戦から80年の節目を前に、7月30日(木)に岡山市内で、遺族に加え、一般の方や報道関係者ら約百名の参加を得て、語り部の拡充強化に向けて「平和の語り部大会」を定期講話会と兼ねて開催しました。

大会では、まず総社市遺族連合会の塩出裕衛会長代行が「父の戦死と私の願い」、横田秀夫副会長が「父の最期を伝える上官からの手紙」、浅沼艶子女性部長が「戦死した二人の父」と題して、それぞれ語り部講話を披露されました。

続いて、日本遺族会の細貝洋子平和の語り部事業本部長から「誰もが語り部になるために」と題して、熱心かつ具体的な説



明があらまし、岡山県庁の作成した動画の紹介もありました。
(写真は講話中の浅沼女性部長)

県連盟合同研修会を開催

令和8年度合同研修会を5月26日(火)から2日間、高知県方面で三宅理事長をはじめ38名が参加して実施しました。

初日は、南国市の史跡に指定されている太平洋戦争当時の「前浜掩体群」航空機格納庫を見学した後、高知県遺族会の平和の語り部事業への取組について、説明を受けるとともに、同遺族会の大石会長、岩村事務局長と意見交換を行いました。

翌日は、県立牧野植物園や高知城を見学して帰路につきました。



(高知県護国神社会議室にて)



(写真…靖國神社にて)

翌17日は、九段会館テラスの日本遺族会会議室にて、衆議院議員で遺族議員協議会の逢沢一郎会長の「英霊顕彰と遺骨収集について」と題した講演を受講しました。講演後、戦中・戦後の資料を保存・展示する昭和館を見学するなど、実り多い研修を行うことができました。

戦没者遺族慰霊研修事業
靖國神社みたままつりへ
県連盟は7月16日(木)から17日(金)にかけて、靖國神社のみたままつりにあわせ、岡山県の補助事業で令和8年度戦没者遺族慰霊研修事業を実施しました。参加者49名は、初日に靖國神社及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑の集団参拝を行いました。

「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝の参加者募集

県の補助により県連盟主催で毎年11月に実施している「岡山の塔」戦没者追悼式／沖縄戦跡慰霊巡拝の参加者を次のとおり募集しています。

11月11日(水)	岡山駅・西口→岡山空港(出発式)→那覇空港→バス6:20→バス7:10 8:30 JTA013便 10:40 11:00→バス沖縄県護国神社【参拝】→那覇市内(昼食)→ひめゆりの塔【参拝】→魂の塔【参拝】→首里城公園(修復中)→那覇市内(泊)【宿泊施設】：インフィニティ那覇首里城 by ヒューイットリゾート 那覇市松川40 TEL：098-887-1111
11月12日(木)	ホテル＝摩文仁・・・沖縄戦没者墓苑【沖縄方面戦没者慰霊祭】・・・「岡山の塔」【沖縄並びに南方諸地域戦没者追悼式】・・・平和の礎＝琉球村(昼食・見学)＝＜海中道路＞＝アマチュア見学＝恩納村(泊)【宿泊】：かりゆしビーチリゾート・オーシャンスパ 恩納村名嘉真アーシ原2591-1 TEL.098-967-8731
11月13日(金)	ホテル＝戦跡：高田高地壕群・浦添城跡(専門ガイド研修)＝嘉数高台公園(普天間基地展望)＝浦添市内(昼食)＝沖縄県立博物館＝那覇国際通り(散策)＝泡盛酒蔵(見学)＝那覇空港・・・岡山空港＝岡山駅・西口 17:20 TA016便 18:40 20:25 20:50→バス 21:20頃

■募集人員…65名(予定)
■旅行代金…6万2千円/人(23名1室基本)
■申込締切…10月9日(金) (定員になり次第締切)
※詳細やお申込みにつきましては、県連盟事務局(TEL:086-271-1717)まで。

「平和の語り部」講話
県内各地の中学生に

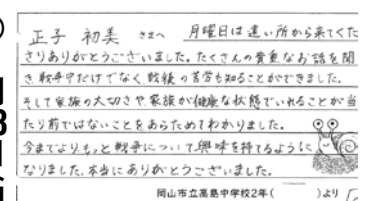
県連盟の取り組みで、「平和の語り部事業」で、戦争の悲惨さを身をもって体験した遺族の記憶を県内の中学生に伝える活動を行いました。

◎5月13日(瀬戸内市邑久中)

県連盟の三宅禎浩理事長、岡山市灘崎の近藤嘉也会長、岡山市西大寺の森勝子女性部長が、岡山平和祈念館に来館した同中学生160人にご自身の体験を語りました。また、生徒達には平和祈念館と、護国神社周辺の慰霊碑や母の像なども見学してもらいました。



◎6月8日(岡山市高島中)
美作市郡の正子初美女性部長が、「満州からの引き揚げと戦後の暮らし」と題して同中2年生



の180人に、命のけの引き揚げの話を聞きました。生徒達も、戦争の悲惨さを身をもって体験した遺族の記憶を県内の中学生に伝える活動を行いました。

◎6月23日(岡山市光南台中)

岡山市灘崎の近藤嘉也会長は、「私の戦後の暮らし」と題して、同中全学年約100人に、戦争の悲惨さを身をもって体験した遺族の記憶を県内の中学生に伝える活動を行いました。

◎6月24日(岡山市後楽館中)

県連盟の波多野子女性部長は、岡山平和祈念館中学校2年生74人に、「戦後を生きるとして、戦地から送られて来た父からの手紙や戦後の母との厳しい生活などを紹介しながら、平和の大切さを訴えました。



生徒からは「当たり前だと思っていたことは、当たり前ではない」という感想が聞かれました。

第十二回特別弔慰金 支給のご案内

特別弔慰金は、国が戦没者等の遺族に弔慰の意を表するため、戦没者の死亡当時のご遺族で、令和7年4月1日時点で遺族年金などを受け取らない場合に、支給されます。

戦没者の子や兄弟姉妹等のうち、支給順位の最も高い方が対象となります。対象の方が複数おられる場合は、代表の方お一人が受け取れます。

■支給内容…額面27万5千円の記名国債(5年償還)

■請求期限…令和10年3月31日

■支給の対象となる親族の範囲や請求手続きなどに関する詳しい内容は、お住まいの市町村の援護担当課又は岡山県庁福祉企画課援護班(TEL:086・226・7320)へお問合せ下さい。

令和8年度政府主催慰霊 巡拝のご案内

令和8年度の厚生労働省主催の遺族代表による慰霊巡拝で今後参加申込みができるのは、次の1地区だけとなっております。

■実施予定地域 中国東北地方(旧満州地域全域)

■実施時期 来年3月15日～3月26日(12日間)

■県庁申込締切 11月9日
■問合先・申込先

参加資格や参加費用など詳細は、岡山県庁福祉企画課援護班(TEL:086・226・7320)にお問合せ下さい。

戦後80年記念誌発行 矢掛町遺族会

矢掛町遺族会は、戦争の記憶を次世代に伝えようと、「戦後80年記念誌 未来へつなぐ平和への願い」を発刊。町内の遺族らの手記や聞き書きなどが掲載され、戦没者への思い、悲慘な戦争体験などが記されています。



記念誌はA5版118頁で矢掛町立図書館などの他、県連盟でも閲覧できます。問合先・矢掛町遺族会事務局0866・82・0848まで

忠魂碑での清掃・語り部活動 岡山市灘崎の忠魂碑

岡山市灘崎遺族連合会は、7月5日に遺族会会員や地元中学生ボランティアら50人で、明治39年建立の忠魂碑の清掃活動を行い、その後慰霊祭を行いました。

慰霊祭終了後、近藤嘉也同連合会会長が、忠魂碑の歴史やお祀りしている戦没者などについて講話を行いました。



県戦没者秋季慰霊祭のご案内 語り部定期講話会も開催

恒例の「岡山県戦没者秋季慰霊祭」が通常どおり催行されますので、多くの皆様にご参列いただきますようお願いいたします。また、春に続いて、慰霊祭終了後、境内の「いさお会館」で平和の語り部を行うこととしていきます。講話者は、岡山県遺族連盟の山下桂正副理事長の予定です。

■日時 10月5日(月)10時～

■場所 岡山県護国神社

※送迎車両を東山電停と神社間で運行しています。

翌日の10月6日(火)には、「岡山県護国神社慰霊大祭」が、午前10時から行われます。

「靖国カレンダー」

令和9年版申込受付中、皆様の家庭に掲げてご利用いただければ幸いです。

遺族会の動き

■窓口販売 700円/部
■注文販売(送料無料)
・100部未満600円/部
・100部以上550円/部
■申込先 英霊にこたえる会岡山県本部(護国神社内)
電話:086・227・3017

12日 備前市戦没者追悼式(備前市民センター)

18日 岡山陸軍墓地秋季彼岸祭(岡山市北区津高)

26日 玉野市戦没者追悼式(玉野市総合体育館)

1日 県連盟常任理事会(岡山平和祈念館)

5日 県戦没者秋季慰霊祭(上記終了後、語り部講話会)(護国神社)

6日 岡山県護国神社秋季慰霊大祭(護国神社)

8日 倉敷市戦没者追悼式(倉敷市民会館)

15日 津山市戦没者追悼式(津山総合体育館)

27・28日 日本遺族会中国・四国ブロック会議(山口県)

30日 県連盟理事大会(県連盟大会議室)

11・13日 岡山県戦没者追悼式(岡山県護国神社)

28日 岡山県遺族代表者大会(岡山芸術創造劇場)

【編集後記】

平和の語り部活動に組織的に取り組むようになって3年目となりました。会員の皆様のご協力により少しずつ輪が広がってきております。厚くお礼申し上げますとともに、今後ともよろしく願います。(増本)